

障害者スポーツ論

科目ナンバリング SPS-321
選択 2単位

下村 一之

1. 授業の概要(ねらい)

障害者のためのスポーツを指導できる人材となるために、必要な知識と見識を身につけるための授業である。
障害とは何か、障害スポーツを取り巻く社会的な環境とは何か、障害者スポーツの種類と内容、障害者スポーツの持つ意義、そして障害者スポーツを発展させるために克服しなければならない問題点とは何か、といった点について学習する。
本講義は基本的に座学であるが、外部講師の特別授業や実習(計画中)を取り入れる予定である。

2. 授業の到達目標

障害とは何か、障害者とは何かを理解し、障害者スポーツに参加し指導できる基礎学力とスキルを身につける。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(100点)及びレポート(各10点 2回あるいは3回)を合計して評価する。欠席1回ごとに、5点を減点する。

4. 教科書・参考文献

教科書

(財)日本障害者スポーツ協会編 『障害者スポーツ指導教本 初級・中級』2,381円 ぎょうせい

5. 準備学修の内容

障害者スポーツに関心を持ち、日ごろから関心・問題意識を持って学習してほしい。

6. その他履修上の注意事項

専門家の少ない領域であるので、将来の自分の仕事の専門分野の一つとできるよう、高い関心を持って臨んでほしい。
感染症の予防措置による制限がない場合には、実習授業を2回ほど予定する。
また、外部講師による、特別授業も、予定する(対面あるいはリモート授業)
本講義は、初級障害者スポーツ指導員の資格申請のための必要条件となります。
単位取得者およびその予定者は、4年卒業前(12月前半ごろ)に、自分で書類提出を行なった場合、初級障害者スポーツ指導員の資格取得のための申請権が与えられる。

7. 授業内容

- 【第1回】 障がい者スポーツの現状:(社会的な環境と諸施策)について(LMS録音授業)
- 【第2回】 障害とはなにか、障害者スポーツとはなにか(その全体像を概括的に把握し説明できる)
- 【第3回】 障害者スポーツの意義(その全体像を概括的に把握し説明できる)
- 【第4回】 障害者スポーツの歴史と現状(その全体像を概括的に把握し説明できる/障害者スポーツの現状と問題点につき説明できる)
- 【第5回】 ボランティア論、レクリエーション論(その全体像を概括的に把握し説明できる)
- 【第6回】 障害の内容とスポーツ時の留意点①(その全体像を概括的に把握し説明できる)
- 【第7回】 特別授業①(外部講師予定)(パラリンピック・障害者国民スポーツ大会について理解する)
- 【第8回】 障害の内容とスポーツ指導の留意点②(身体障害・四肢まひの内容とその原因について理解する)
- 【第9回】 障害の内容とスポーツ指導の留意点③(視覚/聴覚障害の内容とその原因について理解する)
- 【第10回】 障害の内容とスポーツ指導の留意点④(内部障害/HIVの内容とその原因について理解する)
- 【第11回】 障害の内容とスポーツ指導の留意点⑤(知的障害・精神神経障害の内容とその原因について理解する)
- 【第12回】 実習授業①(予定)(パラリンピック・障害者国民スポーツ大会について理解する)
- 【第13回】 障害の内容とスポーツ時の留意点⑥(感染症・遺伝疾患の内容とその原因について理解する)
- 【第14回】 実習授業②(予定)(障害体験の実習を通じて、障害者の立場に立ったスポーツ指導の必要性を理解する)
- 【第15回】 障がい者スポーツ推進への取り組み および 授業内試験(予定)